

## 令和7年度厚木市議会友好都市交流訪問団（横手市）報告書【概要版】

- 1 訪問期間 令和8年2月15日（日）～16日（月）
- 2 訪問先 秋田県横手市
- 3 訪問団 7人  
    団長 望月 真実 副議長  
    団員 石井 芳隆 議員  
          栗山 香代子 議員  
          山口 保子 議員  
          白川 美作江議員  
          高橋 伸也 議員  
    事務局 井出 亜紀子 議会総務係長
- 4 目的  
    国内友好都市である秋田県横手市に、市議会で構成する訪問団を派遣し、議会関係者や友好交流団体等との友好親善を図ることを目的とする。
- 5 訪問日程  
    2月15日（日）（1日目）  
        6時45分 厚木市役所 出発  
        10時10分 羽田空港（発）ANA403便  
        11時15分 秋田空港（着）  
        13時45分 横手市生涯学習館Ao-na(あお一な)視察  
        16時20分 横手市議会表敬訪問、議場見学  
        17時35分 かまくら体験  
        18時30分 友好都市交流会（横手市、那珂市、厚木市）  
  
    2月16日（月）（2日目）  
        9時00分 ぼんでんコンクール 審査員打合せ（副議長）  
        9時30分 ぼんでんコンクール開会 審査開始（副議長）  
        《10時00分～11時00分  
            秋田ふるさと村見学 副議長以外の議員》  
        10時45分 ぼんでんコンクール 表彰式  
        15時50分 秋田空港（発）ANA408便  
        17時00分 羽田空港（着）  
        19時00分 厚木市役所 到着

## 6 視察等概要

2月15日（日）第1日目

### (1) 横手市生涯学習館Ao-na(あおーな)視察

生涯学習館館長である木村雅美氏と図書館課課長である高橋秀明氏から館内を案内していただいた。

本施設は、横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業の中で街の中心部の幅広い年代の人が集える施設として、令和6年7月末に完成したばかりで、建設に当たっては、アンケートやワークショップなどを実施し、多くの意見を聞き地域ニーズに対応した施設となっていた。施設利用者数は平日は、800人から900人、休日は1200人程度の利用者がおり、幅広い年代の方々に利用されていた。1階は生涯学習施設となっており、中高生のワークショップやアンケート実施により、施設の運営方法から利用の仕方までが中高生により決められていた。特に10代しか入ることができない「ティーンズエリア」など特色がある施設となっていた。2・3階の図書館については、随所に地元の木工職人による机や棚の設置、また、本棚についてはオーダーで、本を選びやすくなるよう本に照明が当たるように設計されていた。施設内にある展示コーナーでは、月に1回図書館以外の課が展示を行うことができるようになっており、図書館だけではなく、他部署とも連携しながら運営がされていた。

さらに、「アオーニャ」という民間との共同研究で作製されたAI搭載のロボットがおり、本がある場所を案内したり、休館日には蔵書の点検をしたりしていた。

館内のあらゆるところにおいて、Ao-na(あおーな)のコンセプトである「～人と人とが『つどい、つながる』交流拠点～」を感じることができる施設となっていた。

### (2) 横手市議会への表敬訪問

横手市役所を訪問し、市議会の菅原議長、本間副議長他今年の鮎まつりの際に厚木市を来訪される予定の5名の議員、議会事務局の菅原局長ほか職員の皆様にお迎えをいただいた。

菅原議長からは、「ようこそお越しいただいた。厚木市は3回訪問をさせていただいている。今年はすでに雪がだいぶなくなってきていますが、2日間横手の町をご堪能いただければと思います。」とのごあいさつをされた。

望月団長（副議長）あいさつののち、情報交換として、通年議会をテーマに、導入を目指している横手市議会から、既に通年議会を導入している本市議会に対し、市と信頼関係を保ちながら

進めていくためのアドバイス等を求められ、導入までの経過と導入後、特に問題はないことを説明させていただいた。その後、議場を見学させていただいた。

### (3) かまくら体験

お城山(横手城周辺)を案内していただき、かまくら体験と横手城内を見学した。

ライトアップされた横手城とかまくらはとても幻想的で、雪国ならではの貴重な体験することができた。

### (4) 友好都市交流会

横手市からは高橋市長、議会からは菅原議長、本間副議長他表敬訪問に出席された議員5名と茨城県那珂市議会富山副議長を始め5名の議員、横手市議会事務局職員4名、那珂市議会事務局1名を交えた交流会が開かれ、地域振興やまちづくりなど様々な分野について意見交換を行い、3市議会の交流により親交を一層深めることができた。

2月16日(月)

### (5) ぼんでんコンクール見学・審査、表彰式出席

「ぼんでん」とは、幣束(へいそく)のことで、五穀豊穰、家内安全、商売繁盛などの願いをこめて毎年2月17日に神社へ奉納する行事で、横手の「ぼんでん」は、約300年の歴史があり、横手の梵天は高さ約5m、重さ約30キロと大型で、豪華で優美な頭飾りが特徴です。ぼんでんの頭飾りは、例年その年の干支などをモチーフにしているものが多いとのこと。コンクールでは、町内会や青年会などから24本の参加があり、望月副議長も審査員を務めさせて頂き、今年の干支である午をモチーフにされていたぼんでんが多く、中でも本殿に午がデザインされた豪華なぼんでんの「旭川町内会」に厚木市議会議長賞として、表彰式で賞状と副賞をお渡しした。表彰式終了後、旭川町内会の皆さんと記念撮影を行った。

## 7 まとめ

今回の訪問は、表敬訪問時の意見交換会やぼんでん行事への参加を行い、横手市及び横手市の友好都市である那珂市と交流の場がもてました。また、一昨年開館したAo-na(あおーな)を視察させていただき、幅広い年代の方が居心地の良い場所として過ごすことができる魅力的な施設を見学させていただきました。

また、表敬訪問時には、横手市議会の菅原議長、本間副議長らから盛大な歓迎を受けるとともに、通年議会について活発な意見交換ができました。

ぼんでんまつりでは、ぼんでんコンクールにおいて議長賞の表彰や地元横手かまくらFMの収録もさせていただき、ぼんでんまつりやラジオ放送を通じて本市のPRができたことは大変貴重な場でもありました。

今回の2日間の日程の中で、一昨年に開館したばかりの施設であるAo-na(あおな)の視察や市役所に隣接する横手市ふれあいセンターかまくら館などを見学させていただき横手市の伝統文化や産業に触れることもでき、友好関係を今後もさらに進めていくことが大切であると確認できました。

昨年5月には、横手市との友好都市締結40周年を迎えました。横手市のみなさんのあたたかいおもてなしを感じ、これからもお互いの市、また議会が共に発展し、あらゆる分野での市民交流を積極的に行いながら、末永い交流を続けていきたいとの思いを新たにす大変有意義な訪問となりました。